



学校だより

平成28年度 第9号

発行日 1月18日

練馬区立大泉第二中学校

校長 神山 信次郎

新年を迎えて

校長 神山 信次郎

新年明けましておめでとうございます。平成29年酉年はどのような年になるでしょうか。鳥のように大空をはばたきたいものです。ばたばたすることだけはないように準備をおこたらず、生徒の皆さんが安心して生活ができる大泉二中を作ろうと決意を新たにしています。昨年はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックで参加選手が大活躍をして41個のメダルを獲得するなど、明るい話題が多くあり、勇気や感動をもらいましたが、一方で4月に起きた熊本の地震、年末新潟で起こった火災などの影響で未だに不自由な生活を送っている方々がいることを忘れてはなりません。また、世界に目を向けると、戦争や紛争など争いが絶えない地域が今もなお残されていて、学校へ行くこともできない子ども達、それどころか、食べるものもなく生きることすらできない子どもたち多くいることに心が痛みます。

私たちは、幸いにも厳しい生活を強いられているわけではありません。むしろ、豊かな社会の中で不自由なく生活していると言えます。本当に有難いことです。私たちはこれを「当たり前」と感じてしまいがちですが、実はこの生活があるのは長年にわたる多くの人々の努力のたまものであることを忘れてはならないと思います。ところがこのことを私たちはつい忘れてしまい、不平や不満を口にします。私は、まず、今の生活に感謝することから今年1年をスタートしたいと思います。そして、今立っている足下をしっかりと見つめ、目標へつながる一步を踏み出したいと思います。

新しい年には、誰もが新鮮な気持ちで家内安全や家族の健康を願い、その上で「今年は何々を頑張るぞ」などの誓いを立てているのではないのでしょうか。「何々を頑張るぞ」の中には昨年十分な取り組みができなかったり、結果を出すことができなかった内容が多く含まれると思います。ぜひ、昨年の反省を踏まえ、長期的な目標「夢」、短期的な目標（身近なところで現実可能なもの）を立てて、充実した1年にして欲しいとも思います。野球のイチロー選手が、野球少年に向けて言った次のような言葉があります。「夢をつかむことというのは、一気にできません。ちいさなことを積みかさねることで、いつの日か信じられないような力を出せるようになっていきます。」（「イチロー262のメッセージ」より）

新年を迎え、今年も生徒の皆さんが元気な笑顔と一所懸命頑張る姿を見せてくれることを期待します。どんな困難でも乗り越える勇気を皆さんは確実に持っています。自分の力を信じて自らの将来を切り拓いてください。自分を信じて、一歩ずつ進み続けていくしかありません。明日から一歩ずつです。大切なことは、自分自身が何をしたいのかを忘れないことです。折にふれ、それを振り返ることができる人であってほしいと願っております。

留学生の話を聞く会

公益財団法人・国際理解支援協会の協力を得て、1年生の総合的な学習の時間の中で、インドネシア、キルギス、ウズベキスタン、シリア、インドの5カ国の留学生から文化や歴史について話を聞きました。交流を通して、日本の印象や文化の比較から、自分たちの国を見つめなおし、国際協力の大切さを考えるきっかけを作ることができました。



3年生への応援メッセージ

3年生の教室の廊下に、受験に向かって頑張っている先輩達を励ます「応援メッセージ」が飾られました。中央委員会メンバーが中心となり、1、2年生一人一人が書いたメッセージカードを貼り合わせて見事な絵に仕上げました。「最後まで全力で挑戦してください！」と、励ましや心のこもった温かいエールが数多くありました。教職員一同も参加し、全校あげて応援しています。

<応援メッセージ>



平成28年度第8回中学生「東京駅伝」大会

2月5日（日）、味の素スタジアムを中心にした会場で行われます。今年も、本校より練馬区連合駅伝大会で活躍した選手が選ばれました。本番での活躍を期待しています。

<候補選手>

谷田部 敦裕（2年A組） 井口 翔太（2年A組）

<1年生強化選手>

小倉 優凜（1年E組）

練馬区小中学校連合書きぞめ展のご案内

会 期 平成29年1月28日（土）・1月29日（日）
公開時間 10時～18時（入場は17時30分まで）
会 場 練馬区立美術館 2階 第1・第2展示室
展示作品 毛筆（校内展での金賞作品が展示されます）